

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	異常 な行動	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間										異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていた?よびかかっているのか?)	旧資料No
77	B0300589	9	年	男性	①意識レベルの低下 ②無感情 ③異常行動	2003/3/14 1日2回 2003/3/15 1日2回 2003/3/16 1日1回	2003/3/16	-	-	-	No	No	発熱中から 解熱後も持 続	-	No	-	No	No	2003/3/10 微熱、咳嗽、頭痛あり、A病院受診。上気道炎と診断され、プロモック クス、ダーゼンを処方された。 2003/3/14 微熱持続し、両院再診。インフルエンザ迅速キットでは陰性。臨床 的にインフルエンザと診断し、タミフル150mg及びフルタゾール処方。 2003/3/16 悪寒しない、活動性低下などの変化を認めた。タミフルはこの頃服 用中止。 2003/3/17 両院再診。ソルメド1点満中、突然意味不明の発音や行動が見ら れた。 2003/3/18 同様の症状あり。他院紹介となる。小児科入院の上、頭部CT、種 液検査、脳波施行するも明らかな異常認めず。上気道炎に対する治療のみを行 い経過観察としたが、同日も異常行動あり、活気乏しかった。 2003/3/20 徐々に活気改善。異常行動も認めず。 2003/3/25 外来受診時特に異常なし。	異-1-15
78	B05000151	9	年	男性	①幻覚 ②不穏	2005/3/7 11:00 2005/3/7 21:00	2005/3/7	23:00	-	No	-	3.5時間	Yes	解熱持続	-	-	-	Yes	2005/3/7 インフルエンザB型と診断。(11:00)タミフル服用。(21:00)タミフル服 用。(23:00)「おかしい」ふとんをかぶると肌がムニムニする歩き回り、パニッ ク状態となる。「砂がみえる」感に老人がみえる。 2005/03/08(2:30)自宅から他院へ救急車にて搬送。受診時は意識清明。体温 38.8℃。本剤投与中止。(3:00)回復。当院小児科外来再受診。37.8℃。意識清 明。理学所見上の異常は認めない。本日より薬剤内服すべて中止。 2005/3/11 わずかの無症状のみで晴治。	異-1-23
79	B05021185	9	年	女性	譫妄	2005/12/15 18:00	2005/12/15	20:30、23:00	○	Yes	-	30分	Yes	解熱持続	No	No	No	-	(20:30)意識、意味不明なことを話し始め、部屋の中を走り回り出した(その時 のことは本人は覚えていない)。発熱なし。せん妄状態持続時間:15~30分母 親が抱きかかると回復。(23:00)再び起き入眠するが、再度眠りのわからない言葉 が発現し、再度母親が抱きかかると回復。せん妄状態持続時間:15~30分	異-1-37
80	B05024835	9	年	男性	①譫妄 ②薬物第VII因子量減少	2006/02/08 12:15	2006/02/08	14:15 17:15 21:51 2006/02/07 1:25 2006/02/07 1:33 2006/02/07 4:12 2006/02/07 8:00 2006/02/08 0:21	○ × ○ ○ ○ ○ ○	No	-	10分	Yes	発熱持続	No	-	-	No	2006/2/6 (夕方)発熱あり。 2006/2/6 (10:00頃)当科初診。インフルエンザA型と診断。熱性虚脱の既往有 り。本剤を処方。(帰宅後12:15)タミフル50mg1回分を内服し、居間で寝た。 (14:15)突然起き上がり、ベットボードをさした。一口口に、払いのけ、両 手をさし上げ「こわいこわい」と言って騒ぎ出した。立ち上がり、走り出そう感 があり、大人4人で押さえた。せん妄発現。10分位で落ち着いたが、その後 当科再来。(15:00)再来時には意識清明となったが、急のため入院とした。以降、 せん妄発現まで就寝せず。(17:18)話しかけても会話が成立しない。せん妄発 現。(21:15)異常な夢を言う。視線が合わず会話が不成立、手足をばたばたさせ る。尿失禁。せん妄発現。OT実施。異常なし。尿床検査まで、フプリルガ ン265、FDP1.8、D-ダイマー-0.3、PT/APTT 31min/41s、薬物第VII因子68%、第VII 因子45%、第X因子92%第VII因子の減少を認めた。時刻は不明であるが、就 寝。 2006/2/7 (1:25)急に座位になる。口をくちやくちやくさせる。「うーん、うーん」と言 い、目は開けているが視線をきかせない。立ったが足元からふらつき、ポータ ブルトイレで用をたし、「こわい、こわい」「はすかしい、はすかしい」と言う。せん妄 発現。(1:33)左の口角をつり上げ開眼して「うーん、うーん」と言う。せん妄発現。 (4:12)急に起き上がり、言葉が普通でない。ポータブルトイレにて便をする。せん妄 発現。(正午過ぎ)体温37.0℃台となる。本剤中止し、シスダイン250mg×3回/日、ヒ ベンズ酸ペジジン20mg×3回/日へ変更し投与開始(〜2/13)。MRI実施;異常 なし。時刻は不明であるが、就寝。 2006/2/8 (0:21)排泄する時に2分くらい「ぼー」としていた。計7回せん妄発現 したが、いずれも自然軽快した。 1回当たりの持続時間:2~10分間。体温38.0℃台。脳波検査実施:異常なし 2006/2/8 正午頃より、再び発熱し、38.4℃まで上昇。 2006/2/10 完全に解熱。 2006/2/11 インフルエンザ回復。(11:00)せん妄回復し、退院。第VII因子の減少 回復。トロンボ、ヘパパラチンともども回復していることより、一過性の減少と考 えられる。	異-1-81
81	B05024837	9	年	男性	幻覚	2006/2/4 ①10:30 ②21:00	2006/2/4	①11:30 ②22:00	-	-	-	5~6分	Yes	発熱持続	No	No	No	Yes	2006/2/4 (9:30)発熱:38.8℃、頭痛、倦怠感を認める。インフルエンザA型と診 断。(10:30)タミフル(49.5mg)服用し部屋で安静臥床させた後母親が買い物に外 出。(11:30)悪夢が室から外出しているのを発見し、自宅内に連れ戻したが室 内を奇声を発しながらグルグル回る。ガラス戸をたたいた症状が10分間近くみら れた。発熱、発汗症状もみられたので暑ささせて息子の兄が声をかけたら症状 がスーッと消失し普通に眠る。(21:00)タミフル2回服用(49.5mg)。(22:00)「ウ ー」と奇声を発し起き上がった。5分間位で症状は消失。 2006/2/8 インフルエンザ軽快・回復。	異-1-82
82	B05025584	9	年	女性	異常行動	2006/1/26 星前	2006/1/26	4時間後	-	No	-	30分	-	発熱持続	-	No	No	No	2006/1/26 発熱、咳嗽を主訴に来院。インフルエンザA型と診断。タミフルドライ シロップ、8g×2回/日処方。星前、本剤内服。(15:00頃)体温39.0℃。(約4時間 後)部屋の中を急いでウロウロ歩いているという異常行動発現。その後、安静にて 落ち着き就寝できた。同日再診し、経過観察を確認。本剤投与中止、水分補給、安 静を指示した。	異-1-72
83	B04025100	9	年	男性	異常行動	2007/2/2 夜	2007/2/2	夜中	○	-	-	8時間	No	発熱持続	-	No	No	No	2006/1/27 (午前)異常行動回復。インフルエンザも回復。 2007/2/2 当院来院。39℃の発熱、頭痛を訴える。(夜)インフルエンザ(+)+高、 タミフル30mg×1回投与。(深夜)入眠中の異常行動発現(非重篤)。起き上がら うたり、意味不明な話をしてくる。本人は覚えていない。その後、本剤は処方 せず。他院(救急外来)受診。入院。リレンザ服用(特に問題なし)	異-1-104

異常な行動

識別番号	年齢 数値/単位	性別	PT名称	タイム 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、就寝 中じゃない×)	覚醒直後 に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	発熱 を伴う	意識 障害	過激な 行動	他者による 異常な行 動の制止 の有無	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたように感じたのか?)	旧資料No						
84	B07000097	9	年 男性	幻覚	2007/3/25	8:00 17:00	2007/3/25	24:00	○	Yes	2時間	約8時間	No	解熱過程	-	No	No	No	No	無	異-2-23
85	B07000198	9	年 男性	錯覚	2007/3/11	20:30	2007/3/11	21:00	○	-	30分	3時間	No	-	-	-	-	-	-	不明	異-2-37
86	B07000262	9	年 女性	異常行動	2007/3/30	12:30	2007/3/30	13:00	○	Yes	30分	5分	Yes	-	No	No	No	No	No	無	異-2-47 精-2-73
87	B07012128	9	年 男性	異常行動 幻視	2007/4/19 2007/4/19	朝 夕	①2007/4/20 ②2007/4/20	①7:00 ②11:00	①Yes ②No	Yes/No	-	-	-	①発熱持続 ②解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	
88	B07013252	9	年 男性	異常行動	2007/3/8 2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11 2007/3/12		2007/3/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	
89	B07013257	9	年 女性	異常行動	2007/3/30	夕	2007/3/30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	
90	B07013259	9	年 女性	躁鬱	2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28 2007/3/1 2007/3/1 2007/3/2 2007/3/2	昼 18:00	2007/2/27	20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	
91	B07013313	9	年 男性	異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19	10:00 8:00 8:00	2007/3/17	20:00	○	-	1時間	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	
92	B07013329	9	年 女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	朝 夕	2007/2/27	23:30	○	-	2:30	3:30	No	-	No	No	No	No	No	無	
93	B07013330	9	年 男性	異常行動	2007/3/12	夕	2007/3/13	2:30	○	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	
94	B07013375	9	年 男性	記憶障害 異常行動	2007/3/28	夕方	2007/3/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、就寝 中じゃない×)	発熱 有無	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	意識 障害	嘔吐	下痢	腹痛	頭痛	めまい	眩暈	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたか?と言っているのか?)	旧資料No					
95	9	年	女性	異常行動	2007/2/6 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/8 2007/2/8 2007/2/9 2007/2/9	12:00過ぎ 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕	2007/2/5	14:00	x	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/5 (12:00過ぎ)インフルエンザA型治療のため、本剤54mg×2日投与開始。発熱時自覚異常。発熱38°C(07/2/A)、嘔吐・消化器症状(嘔吐、下痢)。(14:00頃)本剤初回服用後、2時間くらいして、目つきが変わって、しどろに外に出ようとして、何か訳のわからないことを言ったりした。多量の発汗があった。異常行動(非重篤)発現。 2007/2/6 異常行動回復。 2007/2/7 (~2/8)残りの本剤をすべて服用するも同様の症状の出現なし。				
96	10	年	男性	意識喪失状態	2004/2/2	12:00	2004/2/2	15:00	○	Yes 1時間後	3	(救命セン ターに搬送)	-	発熱持続	No (ケガ認識)	No	No	-	No	無	2004/02/02 インフルエンザA型と診断。(12:00頃)昼食後、本剤(75mg/日)等内服し、解熱剤を服用し就寝。 2004/02/02 (15:00頃)意識障害→ベランダから(マンション8F)飛び降りる。外傷等により他院救命センターへ搬送される。 2006/1/18 (14:00)38°C台の発熱、咳嗽出現。 2006/1/19 インフルエンザA型と診断。(12:30)タミフル投与開始(105mg/日)。(13:35)廊下に立ち「布団が熱くなった」と言って布団を持ち上げた後、急に外に向かって走って出て行くとした。異常行動発現。約30分持続。(14:00)当院受診。入院。入院後は異常行動出現せず。 2006/1/20 (9:00)解熱し普段と変わらない様に回復。本剤中止。異常行動回復。 2006/1/21 インフルエンザ回復。 2006/1/31 退院。	異-1-18	
97	10	年	男性	①急性障害 ②異常行動	2006/1/19	12:30	2006/1/19	13:35	-	No	-	30分	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	無	2006/1/19 インフルエンザA型と診断。(12:30)タミフル投与開始(105mg/日)。(13:35)廊下に立ち「布団が熱くなった」と言って布団を持ち上げた後、急に外に向かって走って出て行くとした。異常行動発現。約30分持続。(14:00)当院受診。入院。入院後は異常行動出現せず。 2006/1/20 (9:00)解熱し普段と変わらない様に回復。本剤中止。異常行動回復。 2006/1/21 インフルエンザ回復。 2006/1/31 退院。	異-1-47	
98	10	年	女性	①情緒障害 ②過行行動	2006/01/27 1/28~1/29 1/30	夕 朝-夕 朝	2006/01/29 2006/2/3	-	-	-	-	No	No	解熱後	-	-	-	-	-	-	無	2006/1/28 インフルエンザA発症。夜、38.6°Cの発熱。 2006/1/27 インフルエンザA型と診断。タミフル投与開始。1/27:夕(57mg/日)1/28~1/29:朝夕(57mg×2/日)1/30:朝(57mg/日) 2006/1/28 解熱。38°C台。咳嗽・咽頭痛はあつたので内服薬継続。 2006/1/28 情緒障害、行動異常発現。機嫌が悪く、突然泣いたり、テレビを急に潰したり、母親と手をつなぎながら「ママ」と呼ぶ。母の姿が見えないと探す。多動あり、問いかけに回答せず、ボーっとしている。車を怖がる。人混みを怖がる。眠っていることが多い。 2006/1/30 A医院受診し、本剤投与中止。咽頭痛および咳嗽のためクラリスド、アズマリ、ムソルボンと投与。(18:00)当院受診。母親の嚴重な管理を推奨し、1~2日様子を見るよう伝え帰宅させた。 2006/1/31 A医院再診。インフルエンザ軽快。B病院紹介となる。外来にて頭部CT、血液検査施行。異常なし。本人の症状は軽快傾向にあるが、基本的には不変。 2006/2/1 経過観察のためC病院入院。MRI施行。異常なし。35.6°C。(12時頃)2006/2/2 外泊へ。この頃より正常の状態と不安の強い状態が交互になる。 2006/2/9 外泊より帰院。軽快傾向にあるため退院とした。 2006/2/9 ほぼ正常の状態のみになる。 2006/2/10 外来受診。軽快とした。(情緒障害、過行現象回復)	異-1-57
99	10	年	男性	異常行動	2006/01/16~ 1/17	朝-夕	2006/01/16 2006/01/17	1:00-1:15 11:00-12:00	○	Yes	5時間	10分	No	発熱持続	Yes	Yes	Yes 母	No	No	無	2006/1/16 インフルエンザA型と診断。朝、夕、タミフル内服。(20:00)就寝(1:00)。夜間に「学校へ行く」といってランドセルを背負い外出しようとした。異常行動発現。 2006/1/17 (11:00~12:00)悪夢を見て怖いといひ外出しようとして泣いて叫んだ。朝、夕、タミフル内服。 2006/1/18 前日夕方まで内服し投与中止した。 2006/1/20 中止後39°C以上の熱が下がり症状回復。異常行動回復。	異-1-59	
100	10	年	男性	①不安 ②障害	①2006/6/8 ②2006/6/9~ 6/12 ③2006/6/13	①20:00 ②朝-夕 ③朝	①2006/6/8 ②2006/6/9	①24:00 ②夜間	①○ ②○	No	①4hr ②-	1分	Yes	-	No	No	-	No	No	無	(朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。 ②(6/9夜)本剤内服後、就寝。夜間に急に起き出して暴言(詳細不明)があった。(6/10朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。以降本剤内服するも症状再現なしとのこと。	異-1-86	
101	10	年	女性	異常行動	2007/3/16 2007/3/17	夕方 8:00	2007/3/17	10:00	-	-	-	-	-	発熱持続	Yes	-	-	-	-	No	不明	2007/3/16 インフルエンザA型と確定診断。(夕方)タミフル75mg1回内服。症状なし。 2007/03/17 (8:00)本剤75mg内服。(10:00)体が熱い症状訴える。その後母親が目撃した際に一人 で寝る置き玄關を出ようとしていた。患児の顔が赤く止めたため、大車には至らなかった。本人は覚えていない。症状が出たときは熱がまだ40°Cほどであった。その後母親が寝かされた。12:00)睡眠より覚醒。意識清明。母親が顔で聞いてみると「体が熱く感じた」と、玄關でスニーカーを履こうとしたことなどは覚えていなかった。 (服用2時間後)異常行動。幻覚(重篤度不明)。寝ていたが、笑って起きたし廊下を走り出した。「どうしてかわからないが、笑いたくなったり、走りたくなった」と本人が説明	異-2-36
102	10	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2005/1/22 2005/2/28	不明	2005/2/28	服用2時間後	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能	(服用2時間後)異常行動。幻覚(重篤度不明)。寝ていたが、笑って起きたし廊下を走り出した。「どうしてかわからないが、笑いたくなったり、走りたくなった」と本人が説明	異-3-14	
103	10	年	男性	障害 意識喪失状態	2006/1/31	不明	2006/1/31	23:00	○	Yes	-	-	Yes	-	No	No	-	-	-	-	無	2006/1/31 (23:00)夜中、トイレに起きたとき、興奮状態となり飛び出そうとした。母親の顔が分からなかった。 2006/2/01 意識清明となった。	
104	10	年	男性	異常行動	2007/3/20	朝	2007/3/20	16:00	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	-	Yes	-	-	No	睡眠覚醒 睡眠時過行症	2007/03/20 インフルエンザA型と診断(所見:発熱 38°C、頭痛、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり)、しんやみか)タミフルドラッグシロップ60mg服用。(18:00)保護者が不在であったが、最終に見たときは意識中だった。ボーッと寝ていて不安になり怖い人がきたと思った。その後インフルエンザのペラダから下のぞき、その後、裸足で階下の友達の家に行き、そこで保護された。 (17:00)来院時、体温 38.4°C。意識清明。(23:00)睡眠中起きた。外へ出たといひ、ペラダの方へ行き、カーテンを開けて出ようとした。友人が阻止すると、「腹が見えた。弟が下にいる」と言って、玄關の方へ行って外へ出ようとする。20分くらいで落ち着いてきたが、「しんとしていたら怖い」といひ、本を眺んだり、テレビを見たりして、10分くらいして眠った。 2007/03/22 インフルエンザ回復。		

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中・○、就寝 中じゃない・×)	異常な 行動 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	異常な 行動 の 時間	完全 回復	経過	意識の回復	嘔吐 の有無	発熱 の有無	発熱 の 最高 温度	発熱 の 持続 時間	発熱 の 原因	異常な 行動 の 再開	異常な行動の具体的な詳細 (例: 幻覚については具体的に何が見えたか? 本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように書いているのか?)	旧資料No
122	B07003018	11	年	男性	異常行動	2007/3/19	夕	2007/3/19	服用から1時間後	—	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	No	No	—	No	2007/03/19(夕方)本剤52.5mg/回内服。(1時間後)突然顔面から発熱し、立ち上がり「テスト」と言って階段を登って、2階に上がった。(外に出ようとした。「早く早く」と本人はつぶやいていた。)制止して様子を見ると、突如動作(階段あまり狭くない子がニヤリと笑っていたのが不気味だったとの母親談)。失声当りの状態で約5分程度寝て、その後母の背中をふらふらとどこに向かうというわけではなかった。服用は1回で中止し、再び入眠(翌朝まで寝かせつけた)。 2007/03/20異常行動回復。 本人に聞いたところ、昨日のことを覚えていなかった。	異-3-17
123	B07003581	11	年	男性	異常行動	2007/3/12	13:00	2007/3/12	14:00-15:00	○	No	1-2時間	1時間後	Yes	発熱持続	No	—	—	No	2007/03/12(13:00頃)インフルエンザに対して、本剤83.8mg/日内服。 その後寝かせたが、1-2時間してから起きてきて母親の知らない友達の家遊びに行くと言出し、無理に外出しようとした。母親がおかしいと思い抑えて寝かせつけた。その後はニコニコと笑っていて手足がピクピクと動いていた。しばらくすると治まりその後服用は中止し、以後、異常行動はみられていない。本人も記憶にないとのこと。	異-3-21
124	B07003788	11	年	男性	①異常行動 ②幻覚	2007/7/24 2007/7/24 2007/7/25 2007/7/25 2007/7/26 2007/7/26 2007/7/26	朝夕 朝夕 朝夕 朝夕	2005/2/25	午前中	—	No	—	10分	—	発熱持続	Yes	No	No	No	2007/02/24インフルエンザBと診断。本剤75mg×2回/日投与開始。 2007/02/25(午前)異常行動発現(非重篤)。2階で一人で臥床していた。その時はまだ発熱していなかった。1階にいた母親が突然のもの音に気がついたとほぼ同時刻に大泣きを出し、大変な勢いで階段を下りてきた。母親が抱きかかえたが、約1分ほど興奮が続き、その後、反応が正常になり、臥床した。 2007/02/26の後も興奮を繰り返したが、異常はなかった。記憶なし。 後日、母親が尋ねると、玄關(本人からは見えない)の外に大勢の人がいて、がやがやしゃべっていた。このため、とても怖かったのだと供述した(もちろん、そのような事実はなかった)。現在、その記憶はあるものの、本人に異常はない。	異-3-23
125	B07011102	11	年	男性	異常行動	2008/1/18 2008/1/17	(夕) (朝)	2008/1/17	午前	×	No	—	—	—	発熱持続	No	No	No	No	2008/1/18 38℃の熱が続いていた。キッドでは陰性。総合的にインフルエンザと診断しタミフル処方。(夕)タミフル投与。 2008/1/17(朝)タミフル投与。(午前)2階から1階へ突然走り出し、外へ飛び出ようとしたところを阻止された。その時は赤らんでいて、何も覚えていないとの事。精神科医の副作用(異常行動)(非重篤)発現。	無
126	B07013215	11	年	女性	異常行動	2007/2/7 2007/2/7 2007/2/8 2007/2/8 2007/2/8	夕 夕 夕 夕	2007/2/7	23:00	○	—	1時間	—	Yes	発熱持続	No	No	No	No	2007/2/7 (18:00)体温:37.8℃。(夕)インフルエンザB型治療のため、本剤72mg内服。発症時に認められた自他覚所見:発熱37.8℃(07/27/18:00)、頭痛、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、関節痛、倦怠感。(22:00)就寝。(23:00)せん妄発現(非重篤)。2階にて就寝中、突然起き階段を「思い違い」と言いながら走っており、15分~20分寝てしまった。 2007/2/8 (7:00)せん妄発現。(朝)本剤72mg内服。(夕)本剤72mg内服。 2007/2/9 (朝)本剤72mg内服。(夕)本剤72mg内服。	無
127	B07013227	11	年	男性	激越 浮動性めまい	2008/1/11 2008/1/11	—	2008/1/11	—	○	—	—	—	Yes	発熱持続	No	—	—	No	2008/1/11 インフルエンザA型に対して、本剤75mg×2回/日処方。1回自内服後、すぐに嘔吐。母親の判断にて約8時間の判断にて1回自内服。その後就寝。興奮、ふらつき発現(非重篤)。突然起き出し外へ飛び出したところを家におさえられる。家人より目撃があったことと、2-3分にて本人が気が付き状況確認すると、とても悪い夢を見たとのことだった。 2008/1/12 興奮、ふらつき回復。(8:00)家人より電話あり。症状は落ち着いており、特にわからないとのことであったため、本剤中止にて様子を見た。 2008/1/13 茶室時特に変ったことなし。	無
128	B07013315	11	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28	朝夕 朝夕 朝夕 朝夕 朝夕 朝夕	2007/2/24	本剤服用から1時間後	×	—	—	—	Yes	発熱持続	No	No	No	No	2007/2/24 インフルエンザA型治療のため、本剤発熱抑制(40mg×2/日)。発症時自他覚所見:発熱39.9℃(07/2/23)、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、消化器症状(嘔吐、下痢)。本剤服用後、1時間後位して急に走り出て外へ出て行こうとした。母親が制止したが、暫くボーとしていた。異常行動(非重篤)発現。 不明 異常行動回復。 2007/2/28 インフルエンザ軽快。	無
129	B07013318	11	年	男性	異常行動	2007/3/18 2007/3/19	夕 朝	2007/3/19	18:30	○	—	—	0.5時間	Yes	解熱過程	No	—	—	No	2007/3/18 (夕)インフルエンザA型に対して、本剤87.5mg内服。発症時自他覚所見:発熱39.9℃(07/3/18 18:40)、倦怠感、咽頭痛。 2007/3/19 (朝)本剤87.5mg内服。(15:30)異常行動発現(非重篤)。寝床の最中突然起き上がり、玄關に向かって走り出した。意味不明な音動もみられた。母親が制止し、声をかけたところ、我に戻り部屋に戻るが、行動、音動については記憶がない。(18:00)異常行動回復。 以後は症状みられず。 2007/3/22 インフルエンザ回復。	無
130	B07013379	11	年	男性	異常行動	2007/3/12	15:00	2007/3/12	17:00	○	—	—	20分	No	発熱持続	—	No	No	No	2007/3/12 (15:00頃)インフルエンザB型治療のため、本剤87.5mg×1/日の投与開始。体温:38.5℃。(15:10頃)就寝。(17:00)一過性の怖れ(驚怖)、嫌悪(強いうつろ)、興奮状態発現(非重篤)。(17:30)就寝後、精神神経症状、けいれん等は無く、重篤のため家の外へ飛び出そうとする。その後、このはいやだ、死にたいと繰り返す。約20分持続。(17:50)就寝。(20:30~20:35)再び就寝中に数分~5分、数分の恐怖の発現が在り。(22:30頃)就寝中に再び数分の興奮有り。数分~5分で改善。 2007/03/13 一過性の怖れ(驚怖)、嫌悪(強いうつろ)、興奮状態軽快。何事もなくめぐる。その後、特に異常なく元気だが、興奮中のことは憶えていない。インフルエンザの転帰:回復	無
131	B07013383	11	年	男性	異常行動	2007/3/20	夕	2007/3/20	服用から1時間後	×	—	—	—	Yes	発熱持続	—	No	—	No	2007/3/20 (夕)受診後、夕方に備ってすぐ本剤75mg内服。発症時自他覚所見:発熱(39.4℃)、頭痛、関節痛、倦怠感。(1時間後)異常行動発現(非重篤)。急に家を飛び出した。家の周囲を1周し、帰って来て笑っていた。おそらく、この時、高熱と全身痛があったので、この行動は不可解である。 その後、異常行動は済み、薬を中止するよう指示して再発なし。	無
132	B07013387	11	年	女性	異常行動	2007/3/2 2007/3/2 2007/3/3 2007/3/3	—	2007/3/3	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	No	2007/3/2 インフルエンザB型に対して、本剤75mg×2回/日投与開始。発症時自他覚所見:発熱39.1℃(07/03/02)、頭痛、咳、鼻症状(鼻水)。 2007/3/3 異常行動発現(非重篤)。2回ほど家を飛び出そうとしたが、親が止めたため、大車には至らなかった。本剤投与中止。 2007/3/4 異常行動軽快。インフルエンザ回復。	無

